

静岡市立清水袖師小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和2年12月1日（火）

12月1日（火）、静岡市立清水袖師小学校を訪問しました。石器（黒曜石）で紙や野菜くずを切ってその切れ味を体験したり、本物と比べながら土器片の分類に挑戦したり、昔の方法で火を起こしたり、古代の人々の生活について体験を通して学習しました。この体験が、歴史学習への興味関心につながってくれたらと期待しています。



◎石器(黒曜石)試し切り体験



黒曜石の石器を使って、紙を切る体験をしました。とても、よく切れることに驚きました。また、昔の人々は鋭く尖る石、自然のガラスである黒曜石を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行ったことにも驚きました。



◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器（すえき）の3つの時代の土器についての説明を受け、土器片の分類に挑戦してみました。どれもが本物の土器片、緊張しながらも、それぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけ、班ごとに相談しながら分類しました。正しく分類できたかな？

◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、火を起こすことは大変でした。最初は、なかなか火種ができませんでしたが、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火種はできるのですが、煙が目にしみて火になってくれず大変でした。昔の人々の工夫や苦勞を感じることができました。火を使うことで、私たち人類は、明るく、暖かく、こわい動物にも襲われることなく暮らすことができるようになったばかりでなく、煮たり焼いたり食物を調理しおいしく食べることができるようになりました。